

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和 5 年 2 月 1 日
大 阪 管 区 気 象 台

令和 5 年 1 月 24 日から 29 日にかけての
強い冬型の気圧配置による大雪と暴風雪及び高波について
(大阪管区気象台管内：近畿地方、中国地方、四国地方の気象速報)

令和 5 年 1 月 24 日から 29 日にかけての強い冬型の気圧配置による大雪と暴風雪及び高波について、気象状況を気象速報としてまとめました。

【気象の概要等】

1 月 24 日から 25 日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置となり、西日本の上空約 1500 メートルには氷点下 15 度以下のこの冬一番の強い寒気が流れ込んだため、荒れた天気となり、日本海は大しけとなりました。

近畿地方や中国地方では広い範囲で大雪となり、岡山県津山では日最深積雪 46 センチを観測し 1943 年の統計開始以降、1 位の値を更新しました。

その後、冬型の気圧配置は緩みましたが気温の低い状態が続き、西日本では 26 日はこの冬一番の最低気温を観測した所が多く、京都府南丹市園部では氷点下 13.0 度、滋賀県東近江市桜川東では氷点下 12.3 度、岡山県奈義では氷点下 16.8 度など統計開始以降の最低値を観測しました。

27 日から 28 日にかけては、再び日本付近は冬型の気圧配置が強まり、西日本の上空約 1500 メートルには氷点下 12 度以下の強い寒気が流れ込みました。このため、近畿地方や中国地方の日本海側を中心に大雪となり、28 日の最深積雪は、京都府南丹市美山では 48 センチ、鳥取県智頭では 86 センチを観測しました。

なお、詳細は以下の URL からご覧になれます。

https://www.data.jma.go.jp/osaka/kikou/saigai/pdf/sokuhou/20230201_kanku.pdf

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです（2 月 1 日 09 時現在）。
そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：気象防災部 防災調査課 担当 山本・黒田・山口

電話 06-6949-6308